

(様式第9)

奈医病管第35号  
平成19年10月4日

厚生労働大臣 外添 要一 殿

公立大学法人奈良県立医科大学  
理事長 吉田 修

奈良県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	69人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	350人	186人	394.8人	看護業務補助	34人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	21人	37人	24.7人	理学療法士	5人	臨床検査技師	70人
薬剤師	41人	3人	42.7人	作業療法士	1人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	22人	1人	22.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看護師	597人	28人	611.3人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	14人	4人	16.6人	栄養士	0人	その他の技術員	2人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	96人
管理栄養士	6人	0人	6.0人	診療放射線技師	40人	その他の職員	41人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	797.3人	16.9人	814.2人
1日当たり平均外来患者数	1,751.6人	87.1人	1,838.7人
1日当たり平均調剤数	3,285剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	40人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	5人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	10人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	67人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髓細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	3人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	2人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	23人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腓骨腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓骨切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	5人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	12人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	8人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	3人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	4人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	4人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	12人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	8人
人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	人
眼底三次元画像解析	<input checked="" type="radio"/> 有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人

(追加)

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・悪性腫瘍の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	25人
・神経磁気診断装置による中枢神経機能異常の診断	有・ <input type="radio"/> 無	132人
・遺伝性末梢神経疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	2人
・遺伝性神経疾患患者の遺伝カウンセリング(DNA診断時カウンセリングを除く)	有・ <input type="radio"/> 無	5人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。  
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。  
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・バーチェット病	8人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	42人
・多発性硬化症	44人	・ウェゲナー肉芽腫症	2人
・重症筋無力症	52人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	78人
・全身性エリテマトーデス	227人	・多系統萎縮症	32人
・スモン	14人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	42人	・膿疱性乾癬	7人
・サルコイドーシス	44人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・筋萎縮性側索硬化症	23人	・原発性胆汁性肝硬変	63人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	160人	・重症急性膵炎	15人
・特発性血小板減少性紫斑病	62人	・特発性大腿骨頭壊死症	77人
・結節性動脈周囲炎	31人	・混合性結合組織病	23人
・潰瘍性大腸炎	146人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	17人	・特発性間質性肺炎	15人
・ピュルガー病	33人	・網膜色素変性症	7人
・天疱瘡	30人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	65人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	52人	・神経線維腫症	18人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	7人
・パーキンソン病関連疾患	225人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	6人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	52人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	2人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検CPC 年間32回、悪性リンパ腫カンファレンス 月1回、 皮膚病理カンファレンス 週1回	
剖検の状況	剖検症例数 46例	剖検率 11.6%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
肺高血圧ラットモデルにおけるグレリンの抗炎症作用に関する検討	木村 弘	呼吸器・血液内科	1,400	補委 文部科学省
肺気腫解明への新たなアプローチ: コラーゲン繊維配列の定量的測定法を用いて	友田 恒一	呼吸器・血液内科	1,500	補委 文部科学省
呼吸不全に関する調査研究	久保恵嗣(主任研究者) 木村 弘(分担研究者)	呼吸器・血液内科	1,500	補委 厚生労働省
循環器病研究委託費「Obstructive sleep apneaと循環器病の関連に関する研究」	磯 博泰(主任研究者) 木村 弘(分担研究者)	呼吸器・血液内科	2,000	補委 厚生労働省
喘息気道リモデリングに及ぼす喫煙の影響	濱田 薫	呼吸器・血液内科	2,000	補委 喫煙科学研究財団
喫煙が体重減少をもたらす機序の解明: 肺-消化管ネットワークからの探求	吉川 雅則	呼吸器・血液内科	2,000	補委 喫煙科学研究財団
スモンに関する調査研究	上野 聡	神経内科	700	補委 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 厚生労働省
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	上野 聡	神経内科	700	補委 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 厚生労働省
自己食空胞性ミオパチーの病態・空胞形成解明と疾患概念確立に向けた病理学的研究	杉江和馬	神経内科	1,000	補委 科学研究費補助金若手研究(B) 文部科学省
臓器移植慢性拒絶反応の機序解明と抗血管新生療法による新たな免疫制御法の開発	中島祥介	消化器・総合外科	5,000	補委 上原記念財団
肝細胞移植および肝組織作成治療の実現化にむけた前臨床研究	中島祥介	消化器・総合外科	7,600	補委 文部科学省科学研究費
次世代肝疾患治療の確立にむけた3次元的肝ティッシュエンジニアリング法の開発	大橋一夫	消化器・総合外科	2,200	補委 文部科学省科学研究費
膵癌における癌幹細胞n道程と機能解析の試み	中島祥介	消化器・総合外科	1,700	補委 文部科学省科学研究費
肝移植におけるVWF切断酵素の役割と新たな拒絶反応診断マーカーの開発	高 濟峯	消化器・総合外科	1,700	補委 文部科学省科学研究費
放射線腸炎に対するHGF発現プラスミド・キトサン複合体を用いた遺伝子治療の開発	小山文一	消化器・総合外科	1,500	補委 文部科学省科学研究費
骨髄幹細胞を用いた腸管構成細胞の再生と炎症性腸粘膜障害に対する治療への応用	向川智英	消化器・総合外科	1,300	補委 文部科学省科学研究費
骨髄幹細胞の肝細胞分化誘導における微小重力環境の影響	山田高嗣	消化器・総合外科	1,300	補委 文部科学省科学研究費
抗血管新生療法による小腸慢性拒絶反応および虚血再灌流障害の制御	金廣裕道	消化器・総合外科	1,100	補委 文部科学省科学研究費
腫瘍内間質を標的とした機能抗体作成による新たな膵癌治療	庄 雅之	消化器・総合外科	800	補委 文部科学省科学研究費
血管新生因子抑制による脳硬膜動静脈瘻の治療に関する研究	榊 寿右	脳神経外科	9,800	補委 文部省日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究B(2)

脊髄損傷に対する再生治療-胚性幹(ES)細胞を用いた基礎的研究	中瀬裕之	脳神経外科	500	補委	文部省日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C(2)
脳腫瘍に対する養子免疫療法の基礎的研究	西村文彦	脳神経外科	1,370	補委	文部省日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究スタートアップ
内頸動脈閉塞症にともなう血行力学的脳梗塞の発症予防に関する研究	神 寿右	脳神経外科	900	補委	厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業
骨髄間葉系幹細胞を用いた靭帯・腱付着部の構造再生に関する研究	高倉義典	整形外科	1,700	補委	日本学術振興会
再生医療技術を用いた殺細胞処理骨の再活性化に関する実験的研究	田中康仁	整形外科	700	補委	日本学術振興会
大腿骨頭壊死に対する再生医療の応用	川手健次	整形外科	700	補委	日本股関節研究振興財団
口腔がんにおける重粒子線療法の基礎的研究	桐田忠昭	口腔外科	6,400	補委	文部科学省
伸縮ストレスによる顎関節滑膜細胞の応答とその制御	川上哲司	口腔外科	1,000	補委	文部科学省
顔面骨格パターン形成に関与する分子機構の解析	川上正良	口腔外科	1,200	補委	文部科学省
増殖再生因子添加骨代用材による骨再生に関する実験的研究	藤本昌紀	口腔外科	1,300	補委	文部科学省
DNA多形解析による口腔扁平上皮癌疾患感受性遺伝子の検索	大儀和彦	口腔外科	2,100	補委	文部科学省
口腔癌に対するシヤペロン治療の化学・放射線・温熱療法への応用に関する基礎的研究	今井裕一郎	口腔外科	1,100	補委	文部科学省
顎顔面の形態発生に関与するL3/Lhx8遺伝子の機能解析	井上公秀	口腔外科	1,300	補委	文部科学省
大豆蛋白ビクニンを利用した分子標的抗転移薬の開発と有効性評価	小林 浩	産婦人科	1,000	補委	財団法人テルモ科学技術振興財団
膈および腸内フローラの菌相解析に基づく早産予知への応用	小林 浩	産婦人科	1,000	補委	財団法人ヤクルト・バイオサイエンス
葉緑体工学を用いたがん転移抑制能力を有する大豆蛋白の大量生産系の開発と実証実験	小林 浩	産婦人科	1,000	補委	財団法人不二たんぱく研究振興財団
マグネシウム摂取による妊娠高血圧症候群の改善と予防に関する研究	小林 浩	産婦人科	850	補委	財団法人ソルトサイエンス研究財団
雑豆成分によるがん転移抑制機序解明とその実証実験	小林 浩	産婦人科	1,500	補委	豆類基金
コーヒー豆由来抗炎症成分を用いた高齢者の歯周病・誤嚥性肺炎予防に関する研究	小林 浩	産婦人科	1,000	補委	ネスレ栄養科学会議
婦人科悪性腫瘍患者の妊孕性温存	小林 浩	産婦人科	1,500	補委	成育医療センター
植物葉緑体への遺伝子導入による分子標的癌転移抑制薬の開発	小林 浩	産婦人科	1,900	補委	科学研究費補助金・基盤研究(c)
トリ初期胚を用いたマウスES細胞の神経網膜細胞へのin ovo分化誘導	丸岡 真治	眼科	3,300	補委	科学研究費若手研究B
第VIII因子/VWF複合体の機能制御に基づく新しい抗血栓症戦略	吉岡 章	小児科	36,000	補委	文部省科研費
凝固波形成解析による血液凝固機能評価に関する研究	嶋 緑倫	小児科	500	補委	文部省科研費
抗第VIII因子インヒビター存在下における第VIII因子活性発現に関する研究	田中一郎	小児科	2,000	補委	文部省科研費



厚労省エイズ対策研究事業「血友病の治療とその合併症の克服に関する研究」班（坂田洋一班長）	班員 吉岡 章	小児科	11,000	補委	厚労省
血友病インヒビター製剤調査研究班	班長 吉岡 章	小児科	5,000	補委	財団法人血液製剤調査機構
発声障害者の音声コミュニケーション手段の研究開発	細井裕司	耳鼻咽喉科	3,250	補委	総務省
実環境で最重度難聴者用超音波補聴システムを実現するための基礎的・臨床的研究	細井裕司	耳鼻咽喉科	8,940	補委	文部科学省
頭頸部腫瘍の放射線化学療法における生存シグナル経路を分子標的とした増感効果の検討	家根且有	耳鼻咽喉科	2,000	補委	文部科学省
前庭神経核における虚血神経細胞障害とその可塑性	山中敏彰	耳鼻咽喉科	900	補委	文部科学省
超音波補聴器実用化のための伝音効果率向上に関する研究	阪口剛史	耳鼻咽喉科	500	補委	文部科学省
骨導超音波の知覚メカニズムの解明とその臨床応用について	西村忠己	耳鼻咽喉科	500	補委	文部科学省
蚊アレルギー患者におけるEBウイルス感染NK細胞増殖症に対する分子標的療法の開発	浅田 秀夫	皮膚科・形成外科	2,200	補委	文部科学省科学研究費
アレルギー性皮膚疾患モデル動物を用いたシックハウス症候群の免疫学的研究	浅田 秀夫	皮膚科・形成外科	3,000	補委	住居医学研究奨励金
難治性疾患克服研究事業 稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	新関 寛徳	皮膚科・形成外科	1,800	補委	厚生労働科学研究費
浸潤性膀胱がんの予後改善をめざした集学的治療研究	平尾佳彦(分担研究者)	泌尿器科	1,300	補委	厚労省科学研究費
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療の確立に関する研究	平尾佳彦(分担研究者)	泌尿器科	1,000	補委	厚労省科学研究費
がん診療ガイドラインの適用と評価に関する研究	平尾佳彦(分担研究者)	泌尿器科		補委	厚労省科学研究費
臓器移植の社会基盤に向けての研究	平尾佳彦(分担研究者)	透析部		補委	厚労省科学研究費
前立腺がんのリスク評価と化学予防	平尾佳彦(分担研究者)	泌尿器科	3,200	補委	文部科学省学研究費
PTEN-Aktシグナル伝達系を標準にした前立腺治療モデルの確立	平尾周也	泌尿器科	700	補委	文部科学省学研究費
夜間頻尿の治療法開発を目指したテレメトリー法によるラット膀胱求心性神経活動の検討	鳥本一匡	泌尿器科	700	補委	文部科学省学研究費
表在性膀胱癌における全Genome領域のAllelotypingとホモ欠失の解析	千原良友	泌尿器科	3,100	補委	文部科学省学研究費
知的クラスター創成事業	平尾佳彦	泌尿器科	52,400	補委	厚生労働省
定位放射線治療装置(ノバリスシステム)を用いた肺癌に対するimage-guided radiotherapyの最適化に関する研究	玉本哲郎	放射線治療・核医学科	300	補委	財団法人 奈良県対ガン協会

小計 21  
小計 66

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Arch Allergy Immunol	Histamine type 1 receptor deficiency reduces airway inflammation in a murine asthma model.	Miyamoto K.	呼吸器・血液内科
Respirology	Increased plasma monocyte chemoattractant protein-1 level in idiopathic pulmonary arterial hypertension.	Itou T.	呼吸器・血液内科
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol	Prostacyclin agonist with thromboxane synthase inhibitory activity (ONO-1301) attenuates bleomycin-induced pulmonary fibrosis in mice.	Murakami S.	呼吸器・血液内科
Cardiovasc Hematol Disord Drug Targets	Physiological significance and therapeutic potential of adrenomedullin in pulmonary hypertension.	Murakami S.	呼吸器・血液内科
Sleep Breath	Evidence for activation of nuclear factor kappa B in obstructive sleep apnea.	Yamauchi M.	呼吸器・血液内科
J Infect 52(5):e143-146	A case of post-Japanese encephalitis with partial hypothalamic dysfunction showing repetitive hyperthermia in summertime.	Furiya Y	神経内科
Clinical Neurology and Neurosurgery. 2006 Jul; 108(5): 482-5	White matter T2 hyperintensity development and clinical deterioration after status epilepticus in a patient with dentatorubral-Pallidoluysian atrophy.	Takamura M	神経内科
AJNR Am J Neuroradiol. 2006 ; 27(7):1463-6	Global and region-specific analyses of apparent diffusion coefficient in dentatorubral-pallidoluysian atrophy.	Kin T	神経内科
J Hum Genet. 2006;51(6):555-8	Humanin expression in skeletal muscles of patients with chronic progressive external ophthalmoplegia.	Kin T	神経内科
Infection. 2006; 34(6):352-4	Coexistence of Ramsay Hunt Syndrome and Varicella-zoster Virus Encephalitis.	Kin T	神経内科
Cerebrovasc Dis. 2007 ;23(4):315-317	Spontaneous Intracranial Hypotension Is Associated with a Risk of Venous Sinus Thrombosis and Subdural Hematoma.	Kataoka H	神経内科
European J Neurology. 2007 Jan;14(1):e37-9	Extensive neuroimaging of a transient lesion in the splenium of the corpus callosum.	Shimizu H	神経内科
Ann Neurol. 2007 Feb; 61(2):162-74	DNA single-strand break repair is impaired in aprataxin-related ataxia.	Hirano M	神経内科
Mov Disord. 2007 Feb; 22(3):437-9	Treatable fluctuating Parkinsonism and dementia in a patient with a dural arteriovenous fistula.	Kajitani M	神経内科
J Neurol Sci. 2007 Mar15; 254(1-2):78-83	Sympathetic disturbances increase risk of sudden cardiac arrest in sporadic ALS.	Asai H	神経内科
Arch Physic Med and Rehabil 2006;87 529-535	Does Therapeutic Add to Locomotor Outcome of Body Weight-Supported Treadmill Training in Nonambulatory Patients With Stroke? A Randomized Controlled Trial.	Yagura H	神経内科
Cancer Gene Therapy	Small interfering RNA expression vector targeting hypoxia-inducible factor 1 alpha inhibits tumor growth in hepatobiliary and pancreatic cancers	水野 崇	消化器・総合外科
American Journal of Transplantation	In Vivo Engineering of Metabolically Active Hepatic Tissues in a Neovascularized Subcutaneous Cavity	横山 貴司	消化器・総合外科

Cell Transplantation	Genetic Modification of Hepatocytes Towards Hepatocyte Transplantation and Liver Tissue Engineering	久下博之	消化器・総合外科
LIVER TRANSPLANTATION	Plasma ADAMTS13 Activity May Predict Early Adverse Events in Living Donor Liver Transplantation: Observations in 3 Cases	高 濟峯	消化器・総合外科
Cell Transplantation	Survival of Microencapsulated Islets at 400 Days Posttransplantation in the Omental Pouch of NOD Mice	小林経宏	消化器・総合外科
Transplantation Proceedings	Protective Effect of Prostaglandin E2 Receptors EP2 and EP4 in Alloimmune Response In Vivo	野見武男	消化器・総合外科
Transplantation Proceedings	A Novel CCR5/CXCR3 Antagonist Protects Intestinal Ischemia/Reperfusion Injury	赤堀宇広	消化器・総合外科
Minimally Invasive Neurosurgery and Multidisciplinary Neurotraumatology, Springer-Verlag, Tokyo, 2006, p.170-175 (著書)	Minimally invasive spinal surgery using instrumentation.	Nakase H.	脳神経外科
Minimally Invasive Neurosurgery and Multidisciplinary Neurotraumatology, Springer-Verlag, Tokyo, 2006, p.181-185 (著書)	Neuroprotective approaches in experimental model of cerebral venous infarct.	Nakase H.	脳神経外科
Methods in Molecular Biology Vol.329, Humana Press Inc, Totowa, N, 2006, p.485-493 (著書)	Use of differentiating embryonic stem cells in the parkinsonian mouse model.	Nishimura F.	脳神経外科
Neuro-Oncologyの進歩 15-1:25-29, 2006 (総説)	小児膠芽腫における遺伝子変異の解析.	中村光利	脳神経外科
Cancer Res 66:4478-4487, 2006	Adoptive transfer of type 1 CTL mediates effective anti-central nervous system tumor response: Critical roles of IFN-inducible protein-10.	Nishimura F.	脳神経外科
Oncology 70:212-221, 2006	Defective expression of HRK is associated with promoter methylation in primary central nervous system lymphomas.	Nakamura M.	脳神経外科
J Orthop Sci.	Rapamycin as an inhibitor of osteogenic differentiation in bone marrow-derived mesenchymal stem cells	磯本慎二	整形外科
Artif Organs.	Tissue-engineered approach for the treatment of steroid-induced osteonecrosis of the femoral head transplantation of autologous mesenchymal stem cells cultured with beta-tricalcium phosphate ceramics and free vascularized fibula	川手健次	整形外科
J Bone Joint Surg Am.	Quantitative ultrasound can assess living human cartilage	服部耕治	整形外科
Plast Reconstr Surg.	Experimental study of vascularized tissue-engineered bone grafts	河村健二	整形外科
日本口腔診断学会雑誌	大学生における世代間の歯および歯列弓の形態的変化	井上公秀	口腔外科
Biochemical and Biophysical Research Communications	Osteogenic differentiation of human dental papilla mesenchymal cells	Ikeda,E.	口腔外科
Orthod Craniofacial Res	Morphological differences in the temporomandibular joints in asymmetrical prognathism patients	Kawakami,M.	口腔外科
Anatomy and embryology	Expression and regulation of the LIM homeodomain gene L3/Lhx8 suggests a role in upper lip development of the chick embryo.	Inoue,M.	口腔外科

Pediatric Oral and Maxillofacial Surgery	知的障害者の口腔機能に関する臨床的検討 —アンケート調査結果より—	村田奈保	口腔外科
J Oral Maxillofac Surg	Angina Bullosa Hemorrhagica of the Soft Palate : Report of 11 Cases and Literature Review	Yamamoto,K.	口腔外科
スポーツ歯学	男子大学生ラグビー部員における各種マウス ガードの使用感に関するアンケート調査	石田純一	口腔外科
日本歯科麻酔学会	口腔癌の遊離組織移植再建術後における Bispectral Index を指標にした静脈内鎮静法の 検討	今井裕一郎	口腔外科
頭頸部癌	旭式発話メカニズム検査(簡易版)による口腔癌術後 患者の構音障害の評価 —発語明瞭度検査との比較 検討—	井上公秀	口腔外科
日本小児救急医学会雑誌	当科における過去14年間の小児口腔顎顔面外傷の 臨床統計的観察	井上公秀	口腔外科
Int. J. Cancer. 118 (9): 2322-2328, 2006.	Enhanced spontaneous metastasis in bikunin- deficient mice.	Yagyu T, Kobayashi H, Matsuzaki H, Wakahara K, Kondo T, Kurita N, Sekino H, Inagaki K.	産婦人科
Int. J. Gynecol Cancer 16; 1545-1551, 2006.	Activation of mammalian target of rapamycin in postmenopausal ovarian endometriosis.	Yagyu T, Tsuji Y, Haruta S, Kitanaka T, Yamada Y, Kawaguchi R, Kanayama S, Tanase Y, Kurita N, and Kobayashi H.	産婦人科
Biol. Chem. 387 (12); 1545-1549, 2006.	Endogenous antiinflammatory substances: inter- alpha-inhibitor and bikunin.	Kobayashi H.	産婦人科
Int J Gynecol Cancer. 2007 Jan-Feb;17(1):37- 43.	Risk of developing ovarian cancer among women with ovarian endometrioma: a cohort study in Shizuoka, Japan.	Kobayashi H, Sumimoto K, Moniwa N, Imai M, Takakura K, Kuromaki T, Morioka E, Arisawa K, Terao T.	産婦人科
Expert Opinion. 11(4): 453-461, 2007.	Essential role of placental leucine aminopeptidase in gynecologic malignancy.	Mizutani S, Shibata K, Kikkawa F, Hattori A, Tsujiimoto M, Ishii M, and Kobayashi H.	産婦人科
Blood Coagulation & Fibrinolysis	Successful use of recombinant factor VIII devoid of von Willebrand factor during multiple teeth extraction in a patients with type3 von Willebrand disease	櫻井 嘉彦	小児科
International Journal of Hematology	Clinical evaluation of recombinant factor VIII preparation(Kogenate)in previously treated patient with Hemophilia A:descriptive meta-analysis of post marketing study data	吉岡 章	小児科
Journal of Thrombosis and Haemostasis	The measurement of low level of FVIII of FIX in hemophilia A and hemophilia B plasma by clot waveform analysis and thrombin generation assay	松本 智子	小児科
日本眼科学会雑誌 110巻4号Page282-287	頭蓋内疾患を有する小児てんかん患者に対する 多局所視覚誘発電位の臨床応用	湯川英一, 金永進, 川 崎健輔, 吉井稔章, 原 嘉昭	眼科
脳と神経 58巻5号 Page408-412	脳梗塞患者に対する多局所視覚誘発電位を用 いた他覚的視野評価	湯川英一, 斎藤こす え, 金永進, 丸岡真 治, 神崎麻美子, 原嘉 昭	眼科
American Journal of Ophthalmology Vol.142 No.5 Page856-858	Frequency doubling technology perimetry after clear and yellow intraocular lens implantation.	T.Ueda,T.Ota,E.. Yukawa,Y.Hara	眼科
Journal of Nara Medical Association 57巻2~3 Page81-86	孤発性Blau症候群の長期経過観察例	櫻井嘉彦, 福田和由, 中島充, 吉岡章, 森本勝 彦, 宮川幸子, 竹谷太, 原嘉昭	眼科
日本眼科紀要 57巻7号 Page572-575	視神経炎患者に対するHumphrey MATRIXを用 いた視機能評価	湯川英一, 吉井稔章, 上田哲生, 太田文生, 竹谷太, 新田進人, 原 嘉昭	眼科
あたらしい眼科 23巻8号 Page1091-1094	検診での軽度の視力低下を契機に発見された Raeder症候群の1例	西智, 湯川英一, 上田 哲生, 金永進, 竹嶋靖 浩, 原嘉昭	眼科

臨床眼科 60巻9号 Page1685-1689	正常眼圧緑内障に対するニプラジロール点眼単 独投与の臨床効果	湯川英一、新田進人、 竹谷太、吉井稔章、松 浦豊明、森下仁子、原 嘉昭	眼科
Journal of Cataract and Refractive Surgery Vol.32 No. 10 Page1643-1649	Effect of total higher-order aberrations on accommodation in pseudophakic eyes.	T.Nishi,Y. Nawa, K.Masuda,F.Taket ani,Y.Hara	眼科
Human Factors Vol.48 No.4 Page651-655	Change in dynamic visual acuity (DVA) by pupil dilation.	T.Ueda,Y. Nawa, E.Yukawa,F.Taket ani,Y.Hara	眼科
臨床眼科 60巻13号 Page2063-2065	緑内障患者に対するGoldmann圧平眼圧計と ICare眼圧計での眼圧値の検討	夏目恵治、湯川英一、 竹谷太、松浦豊明、名 和良晃、原嘉昭	眼科
臨床眼科 61巻1号 Page93-96	多局所視覚誘発電位により視機能評価を行った 球後視神経炎の1例	伊集院朋子、湯川英一、 新田進人、吉井稔 章、原嘉昭	眼科
Journal of Nara Medical Association 58巻1号 Page11-15	天理市立病院における小児スポーツ眼外傷の発 生状況	湯川英一、丸岡真治、 原嘉昭、片桐博都、森 下仁子	眼科
Facial N Res Jpn	人工神経(PGA-collagen tube)を用いて顔面神 経再建術を施行した耳前部悪性腫瘍の1例	岡本英之	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Muir-Torre syndrome	西村忠己	耳鼻咽喉科
頭頸部癌	経皮的動脈穿刺法による浅側頭動脈を用いた 超選択的動注療法	家根旦有	耳鼻咽喉科
Br J Dermatol	Amicrobial pustulosis with antinuclear antibodies and rheumatoid factor.	Asada H	皮膚科・形成外科
Microbes and Infection	Induction of b-defensin 3 in keratinocytes stimulated by bacterial lipopeptides through toll-like receptor 2.	Asada H	皮膚科・形成外科
J Dermatol Sci	Hypersensitivity to mosquito bites: a unique pathogenic mechanism linking Epstein-Barr virus infection, allergy and oncogenesis.	Asada H	皮膚科・形成外科
J Dermatol	Juvenile-onset hypergammaglobulinemic purpura and fetal congenital heart block.	Maeda-Tanaka M	皮膚科・形成外科
皮膚の科学	疣贅状表皮発育異常症の1例	榎本美生	皮膚科・形成外科
臨床皮膚科	精巣腫大にて発症し、皮膚浸潤をきたしたNK/T cell lymphomaの1例	北村華奈	皮膚科・形成外科
臨床皮膚科	リンパ節転移を伴ったeccrine porocarcinomaの1 例	中野さち子	皮膚科・形成外科
皮膚の科学	Papular lupus rash を初発症状としたSLEの1例	前田真紀	皮膚科・形成外科
JOHNS	掌蹠膿疱症、扁桃病巣感染、特集 ここまでわ かった遺伝子異常 JOHNS	新関寛徳	皮膚科・形成外科
皮膚病診療	特集「小児の膠原病」 新生児エリテマトーデス	宮川幸子	皮膚科・形成外科
J Dermatol	Paraneoplastic pemphigus presenting as erythrodermic lichenoid dermatitis with concomitant features of pemphigus foliaceus.	Fukumoto T	皮膚科・形成外科
皮膚の科学	間質性肺炎を伴ったAmyopathic dermatomyositisの1例	北村華奈	皮膚科・形成外科
European Journal of Plastic Surgery	The thrmography of hands after a radial forearm flap has been harvested	Kuwahara M	皮膚科・形成外科

European Journal of Plastic Surgery	The longest known interval between commencement of intravenous infusion of gabexate mesilate and the development of a hand cyst	Iioka H	皮膚科・形成外科
Plastic and Reconstructive Surgery	Use of Plastic Baskets for Rat Aneesthesia	Niitsuma K	皮膚科・形成外科
Urology View	ケーススタディ「腎癌の診断・治療」－アンサーチェックでみた泌尿器科臨床医の治療戦略－	平尾佳彦	泌尿器科
日本医事新報	質疑応答Q&A「残尿とPSA値」	平尾佳彦	泌尿器科
日泌尿会誌	会陰部より発生した近位型類上皮肉腫の1例	三宅牧人	泌尿器科
J Microwave Surg	マイクロ波組織凝固装置を用いた無阻血腎部分切除術の腎機能評価法－機能的腎実質容積の測定－	藤本清秀	泌尿器科
透析会誌	腫瘍状石灰化に対し副甲状腺摘出術が奏功した二次性副甲状腺機能亢進症の3例	吉田克法	透析部
泌尿器外科	急性陰囊症を契機に診断された精細管内悪性胚細胞の1例	三宅牧人	泌尿器科
Japan Medicine	Interview「プライマリケア医の役割－排尿障害”難民”救う内科・泌尿器科の連携」	平尾佳彦	泌尿器科
J Nara Med Ass	膀胱癌の基礎および臨床	藤本清秀	泌尿器科
移植	腎移植後の尿路合併症の検討	壬生寿一	泌尿器科
泌尿器外科	経尿道前立腺切除術におけるLevofloxacin術前投与の意義 －前立腺組織内濃度と術後感染予防効果－	近藤秀明	泌尿器科
Urology	Cutoff value of urinary arginine vasopressin for nocturnal polyuria in elderly men	T Akiyama	泌尿器科
Acta Urol Jpn	A case of small cell carcinoma of the kidney	M Miyake	泌尿器科
腎泌予防医誌	健常人を対象にした大豆蛋白摂取量と血中・尿中濃度の世代間調査	田中雅博	泌尿器科
医学のあゆみ	精巣胚細胞腫に対する周術期治療	岡島英二郎	泌尿器科
よくある症状－見逃せない疾患	Brunoさんの急性側腹部痛	岡島英二郎	泌尿器科
Prostate Cancer Prostatic Dis	Prostatic volume and volume-adjusted prostate-specific antigen as predictive parameters for prostate cancer patients with intermediate PSA levels	N Tanaka	泌尿器科
Arch Androl	Endocrine response to a single injection of goserelin 3.6mg or leuprolide 3.75 mg in men with prostate cancer	N Tanaka	泌尿器科
日本医事新報	質疑応答Q&A「高齢者の前立腺肥大とPSA値」	平尾佳彦	泌尿器科
Acta Urol Jpn	Prostatic volume and volume-adjusted prostate-specific antigen as predictive parameters for T1c prostate cancer	N Tanaka	泌尿器科
腎と透析	特集: 日常診療で遭遇する尿路トラブル「乏尿、多尿」	平山暁秀	泌尿器科
Int J Urol	Tissue levels of pyrimidine nucleoside phosphorylase activity in human and rodent bladder cancer and normal bladder tissue	K Fujimoto	泌尿器科

Int J Urol	Sexuality and seeking medical help for erectile dysfunction in young adults with spina bifida	T Shihomi	泌尿器科
奈医報	夜間頻尿・夜間多尿	明山達哉	泌尿器科
奈透析会誌	奈良県における慢性透析患者の現況－2005年末の統計的観察－	吉田克法	透析部

小計 3  
合計105

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 榊 壽右
管理担当者氏名	医療サービス課長 南浦 健、 病院管理課長 上浦 豊

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		外来カルテ庫、入院カルテ庫、薬剤部、中央放射線部、電子カルテ	個々の患者の諸記録は、カルテとともに整理し一括保管。 エックス線写真は、中央放射線部で一括保管。 諸記録、エックス線写真とも、あわせて電子カルテにも保存。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課 病院管理課	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課 各診療部	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課 各診療部	
	高度の医療の研修の実績	各診療部	
	閲覧実績	医療サービス課 病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
確保規則の第9条の2及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	様式13-2 のとおり	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	様式13-2 のとおり	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	様式13-2 のとおり	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	様式13-2 のとおり	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	様式13-2 のとおり	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医療サービス課長 南浦 健
閲覧担当者氏名	医療サービス課課長補佐 西村 和也、病院管理課課長補佐 岡田 高男
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課事務室、病院管理課事務室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.6%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数		12,819人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,929人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		2,726人
	D:初診の患者の数		28,190人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 2名 ) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1名 ) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員： 専任 ( 2 ) 名 兼任 ( 3 ) 名 ・ 活動の主な内容：別添のとおり	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容：別添のとおり	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容：別添のとおり	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 4 回
・ 研修の主な内容：別添のとおり	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有 ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容：別添のとおり	

# 安全管理体制の確保状況調書

【病院名：奈良県立医科大学附属病院】

## 1. 医療の安全の確保について

### (1) 医療に係わる安全管理のための指針

※該当項目を■にて表示すること（以下同様）

① 指針の整備等の状況	平成14年10月 1日 策定	
指針の変更（改正）を行っているか。  (前回の検査以降分)	■有 (平成19年 4月 1日 全部 ・ (一部) 改正)	
	□無	
	<b>【改正した内容】</b> 2. 医療安全管理体制の一部改正 医療安全管理委員会の委員変更 事務局次長→病院経営部長 病院経営課長→医療サービス課長 医療事故調査委員会の委員変更 事務局次長→病院経営部長 医療事故調査委員会の庶務 病院経営課→医療サービス課  医療に係る安全管理のための委員会での変更(改正)承認日 平成19年 4月 3日	
② 必要に応じて整備することが望ましい事項の状況	各部門毎の安全管理のためのマニュアル等の整備	<input type="checkbox"/> 部門毎のマニュアル（該当の場合は部門名を別紙にて添付） <input checked="" type="checkbox"/> 診療行為別マニュアル <input type="checkbox"/> 部門別・診療行為別マニュアル <input checked="" type="checkbox"/> マニュアルのオンライン化  <b>【直近一年の内容等の整合性、見直しの実施状況及び今後の計画】</b> 「注射指示の記載に関する標準指針」の追加 「血管外漏出時の対応」の追加 「身体拘束に関する事項」の追加 「暴力・犯罪的行為」の追加 「輸血」の内容改正 「指針」「規程」等の改正 今後の計画 電子カルテ導入に伴う内容改訂
③  ア) 病院職員へ周知しているか。（変更した場合を含む）  その他  イ) その他 (今後の取組・見直し等)	ア) 病院職員へ周知しているか。（変更した場合を含む）	<b>【全体版マニュアル等の作成】</b> <input type="checkbox"/> 全員配布 ■ 各部署に配布 <input type="checkbox"/> 幹部のみ <input type="checkbox"/> 無  <b>【携帯版マニュアル等の作成】</b> <input type="checkbox"/> 全員配布 <input type="checkbox"/> 各部署に配布 <input type="checkbox"/> 幹部のみ ■ 無
	○ 周知状況等の把握・検証（各部署及び安全管理を行う部門等の状況）  (※指針に限らず医療安全情報を含む)	<b>【その他の方法による周知】</b> 電子カルテ上の医療安全ホームページに全体版マニュアルを掲載。各医療者が容易に参照できる。（そのため、携帯版マニュアルの作成は不要としている。） リスクマネージャー会議において、改正概要の説明  リスクマネージャー会議での議題を、リスクマネージャーが各所属での部署内ミーティング時に周知する。その実施概要をリスクマネージャー活動報告書の提出により把握している。 その他、院内ラウンドや医療安全認識度チェックなどにより、職員に周知されているか検証を行っている。
		<input type="checkbox"/> 院内の相互チェック <input checked="" type="checkbox"/> 院内ラウンド・パトロール <input checked="" type="checkbox"/> 自己チェック <input type="checkbox"/> 他病院との相互チェック <input type="checkbox"/> その他 ( )
	イ) その他 (今後の取組・見直し等)	全般的に必要なに応じて、見直し改正を行っていく。 その周知状況についても、院内ラウンド、自己チェックなどを定期的実施し、検証していく。

(2) 医療に係わる安全管理のための委員会

① 委員会の設置状況	名 称	医療安全管理委員会			
	設 置	平成 6 年 9 月 日 設置 (平成19年 4月 1日 変更)			
② 管理および運営に関する規程(委員会規程)の整備状況	委員会規程の変更を行っているか。(前回調査以降分)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (平成19年 4月 1日 改正) <input type="checkbox"/> 無			
		<b>【改正した内容】</b> ・医療安全管理委員会の委員変更 事務局次長 → 病院経営部長 病院経営課長 → 医療サービス課長 ・医療事故調査委員会の委員変更 事務局次長 → 病院経営部長			
③ 委員会の構成員等	委員 長	岡本 康幸	委員 数	15 人	
	委員名簿	(別紙「委員名簿(※職名のみ記載で可)を添付)			
④ 委員会の開催状況	定例会	毎月 1回開催	前年度開催実績	12回	
	議事録の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無	
	委員の出席状況	直近の開催日	平成19年 9月 4日 開催		
		出席委員数	11人 / 15人中		
	欠席した委員への伝達状況		医療安全推進室員が委員会資料を配付(必要に応じて安全管理者より重要事項を報告)		
⑤ 医療事故の原因調査等のための委員会の設置状況	委員会の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (平成16年 8月設置)		<input type="checkbox"/> 無	
	委員会の名称	医療事故調査委員会			
	規程の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (平成16年 8月設置)		<input type="checkbox"/> 無	
	安全管理委員会との関係	併置(事故調査委員会での原因究明の結果を受けて安全管理委員会で再発防止策の検討を行う)			
	医療事故発生時の対応手順等の作成状況	・医療安全管理指針内で明記(別添参照) ・医療安全管理マニュアル 総論内で明記			

(3) 医療に係る安全管理のための職員研修（全職員を対象とした研修）

① 医療機関全体に共通する全職員を対象とした研修の開催状況	前年度の開催実績	(合計) 14回
	参加延職員数等	延 3,658人 (職員数 1,276人) [職員一人当たり 2.9回/年]
② 記録整備	<input checked="" type="checkbox"/> 開催案内 <input checked="" type="checkbox"/> 研修内容 <input checked="" type="checkbox"/> 出席者名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 出席者集計 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
③ 研修計画	<input checked="" type="checkbox"/> 年間計画を作成 <input type="checkbox"/> 半年ごとに策定 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	計画を策定する組織等	医療安全推進室
	今年度の実施計画	13回 (うち実施済: 6回) (予定: 7回)
④ 実施した(計画している)研修内容	前年度実績	4/10「新採用・異動職員医療安全管理研修」4/25「医療安全管理体制について」5/25「中心静脈カテーテル挿入に関する安全管理」6/26・7/25～28「みんなで考えよう。医療事故防止対策！」9/25「造影剤使用に関連したリスクマネジメント」10/23「採血・注射・針刺し事故の神経障害」11/20「医療事故と損害賠償」等
	今年度計画 (実績)	4/25「医療安全管理活動について」5/25「カテーテルとドレーンへ安全管理の観点から～」6/25「法廷から見るカルテと説明義務の判例の動向を裁判官はこうを見ている～」7/25「中心カテーテル挿入に関する安全管理」8/24「BLS(一次救命処置)とAED(自動体外式除細動器)について」除細動装置(DC)について」その他公認部署内研修 今年度参加延職員数 1,173人
⑤ その他	ア) 開催についての職員への周知方法	①リスクマネージング会議で周知、②ニュースレターで周知、③所属長・リスクマネージングへ開催案内の送付と参加働きかけを依頼、④医療安全ポスターの掲示板に掲載、⑤開催直前に院内放送
	イ) 職員からの研修内容等に関する意見・要望等の聴取の実施	アンケートの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない 【アンケート以外で実施している方法】 医療安全推進室で随時対応
	ウ) 研修への参加状況確認(参加者の把握)の実施等	出席者名簿の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない 【出席者名簿以外の方法】 ・研修参加者に受講シールを配布(名札に受講シールを貼る) 【参加を促すための具体的方策(恒常的欠席者の把握方法や対策)】 リスクマネージャーに各所属欠席者名簿を配布し、参加を促す。 医療安全管理委員会、病院運営協議会で、各所属の出席状況資料を配付。 【研修会の欠席者に対する伝達講習等の周知方法】 各リスクマネージャーに部署内ミーティング等で伝達講習の開催を依頼している。 ・研修に使用したDVD等の貸出。
	エ) 新規採用医師・研修医・看護師を対象とする研修の実施状況	新規採用医師 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない 【内容及び参加状況】 「新採用・異動職員医療安全管理研修会」4月9日 9時～15時半 医療安全管理体制・情報伝達と確認・処方・与薬・カテーテル・ドレーン類 医療機器・転倒・転落・廃棄物の処理・医療機器・電気設備・事故発生時の対応 (49名中 10名参加)
	イ) 研修医	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない 【内容及び参加状況】 同上 (40名中 40名参加)
	ウ) 看護師	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない 【内容及び参加状況】 同上 (49名中 48名参加)
	オ) その他	・医療安全研修を毎月開催する他、特定月には同内容の研修を複数回開催するなど、多数の職員の受講を促進している。

(4) 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策

		平成14年10月 1日 施行											
① 報告制度に関する規程等の整備	内 容	① 委員会等への報告ルート ② 収集する報告の事例（合併症への対応等） ③ 報告時期 ④ 医療機能評価機構への報告 ⑤ 時間外等の報告手順 ※上記①～⑤について、規程等の該当部分に下線を付し、それぞれの該当番号を記入すること。											
② 病院内における安全管理に関する問題点の把握・分析を通じた病院組織としての改善策の検討（各部署及び安全管理を行う部門等の状況）	※インシデント等発生時の各部署における対応状況。（RMの対応状況）→報告方法→報告受領後の問題点の把握、分析方法→改善策の検討、決定方法等を具体的に記入のこと。 インシデント発生→RM又は所属責任者へ報告→RMは、患者への影響度、患者の反応、合併症の有無などを勘案し、緊急報告の必要性を判断→インシデント・アクシデント状況報告書の作成→医療安全推進室で報告受理（重大事故は院長、医療安全管理委員長に随時報告）→分析、対策検討チーム会で要因分析、対策案作成→RM会議で対策案に対する意見収集→医療安全管理委員会で対策案を審議、承認→病院運営協議会で医療安全管理委員会での審議結果報告→医療安全推進室が中心となり改善策を実施推進→RM会議、医療安全推進室HP及び医療安全ニュースレターで改善策の周知→各RMが各所属内ミーティングで改善策を周知→改善策の実施→各RMは、所属内ミーティングの開催状況等をRM活動報告書により医療安全推進室に報告→医療安全推進室により医療安全認識度チェック、院内ラウンドなどで改善策の実施状況を検証→医療安全推進室から医療安全管理委員会、病院運営協議会へ医療安全に関する状況報告。												
③ 医療事故等の発生報告書（アクシデント・インシデント報告書等）の提出状況	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="596 1055 751 1189">平成18年度</td> <td data-bbox="751 1055 1455 1122">172 2,182 件(うち、医師の報告件数 69 件) (うち、臨床研修医の報告件数 3 件)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 1122 751 1189"></td> <td data-bbox="751 1122 1455 1189">77 8 件(うち、医師の報告件数 2 件) (うち、臨床研修医の報告件数 件)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 1189 751 1323">平成17年度</td> <td data-bbox="751 1189 1455 1256">171 2,699 件(うち、医師の報告件数 95 件) (うち、臨床研修医の報告件数 7 件)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 1256 751 1323"></td> <td data-bbox="751 1256 1455 1323">77 14 件(うち、医師の報告件数 6 件) (うち、臨床研修医の報告件数 件)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 1323 751 1458">平成16年度</td> <td data-bbox="751 1323 1455 1391">171 1,843 件(うち、医師の報告件数 124 件) (うち、臨床研修医の報告件数 31 件)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 1391 751 1458"></td> <td data-bbox="751 1391 1455 1458">77 131 件(うち、医師の報告件数 47 件) (うち、臨床研修医の報告件数 件)</td> </tr> </table> <p>平成 19 年 6 月 ( 262 件 )</p> <p>7 月 ( 248 件 )</p> <p>8 月 ( 249 件 )</p> <p>【最近3箇月の状況】 今年度累計件数 ( 1,196 件 )</p> <p>報告の電子化 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>報告制度についての職員等への周知状況等（各部署及び安全管理を行う部門等の状況）</p> <p>【部署別の提出状況と周知状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネージャー会議での周知</li> <li>・部署内ミーティングにおけるリスクマネージャーから職員への周知</li> <li>・医療安全ニュースレターによる周知</li> <li>・医療安全管理研修による周知</li> </ul>	平成18年度	172 2,182 件(うち、医師の報告件数 69 件) (うち、臨床研修医の報告件数 3 件)		77 8 件(うち、医師の報告件数 2 件) (うち、臨床研修医の報告件数 件)	平成17年度	171 2,699 件(うち、医師の報告件数 95 件) (うち、臨床研修医の報告件数 7 件)		77 14 件(うち、医師の報告件数 6 件) (うち、臨床研修医の報告件数 件)	平成16年度	171 1,843 件(うち、医師の報告件数 124 件) (うち、臨床研修医の報告件数 31 件)		77 131 件(うち、医師の報告件数 47 件) (うち、臨床研修医の報告件数 件)
平成18年度	172 2,182 件(うち、医師の報告件数 69 件) (うち、臨床研修医の報告件数 3 件)												
	77 8 件(うち、医師の報告件数 2 件) (うち、臨床研修医の報告件数 件)												
平成17年度	171 2,699 件(うち、医師の報告件数 95 件) (うち、臨床研修医の報告件数 7 件)												
	77 14 件(うち、医師の報告件数 6 件) (うち、臨床研修医の報告件数 件)												
平成16年度	171 1,843 件(うち、医師の報告件数 124 件) (うち、臨床研修医の報告件数 31 件)												
	77 131 件(うち、医師の報告件数 47 件) (うち、臨床研修医の報告件数 件)												
④ その他（今後の取組等）	医療機能評価機構への報告件数：前年度 9 件 今年度（直前まで） 7 件 ・報告制度については機会ある毎に職員に周知する。												

(5) 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置

① 配置状況	配置年月日	平成 15年 4月 1日 (当初) 平成 16年 4月 1日 (現職)
	所属部門・部署	中央部門 医療安全推進室
	職名・氏名	(職名) 室長補佐・安全管理者
		(氏名) 高橋 美雪
有する資格	<input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師	
② 医療安全に関する必要な知識の修得状況	【取得のために受講した研修等(研修名、期間、主催者名を記載)】 H18.11.9 医療安全推進のための研修会 奈良県、奈良県病院協会主催 H18.11.21~22 医療安全に関するワークショップ (特定機能病院) 医療安全 研究発表会 厚生労働省主催 H19.3.17~18 日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会・医療事故調査会 シンポジウム 日本予防医学リスクマネジメント学会・医療事故調査会主催 H19.4.28 講演「最近における医療裁判の動向と病院における医療安全対策の 必要性」 奈良外科学会主催	
③ 安全管理委員会への参加	参加についての規定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
④ 従事している業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故の防止に関する業務</li> <li>・重大な、又は部門を横断する医療事故発生後の対応と、調整等に関する業務</li> <li>・医療安全に関する教育・啓発等に関する業務</li> </ul>	
⑤ その他		

(6) 医療に係る安全管理を行う部門

① 設置状況	設置年月日	平成15年 4月 1日	
	部門の名称	医療安全推進室	
	組織上の位置づけ	附属病院 中央部門	
	構 成 員	職 名	
		(部門の長)	室長(統括安全管理者・中央臨床検査部長) 岡本 康幸 (□専任・■兼任)
		(構成員)	室長補佐(安全管理者・看護副部長) 高橋 美雪 (■専任・□兼任)
			副安全管理者(中央手術部・講師) 下川 充 (□専任・■兼任)
		副安全管理者(薬剤部係長) 小南 清司 (□専任・■兼任)	
	副安全管理者(看護師長) 堀口 陽子 (□専任・■兼任)		
	主査 檜垣 充弘 (■専任・□兼任)		
	専任者 2名 兼任者 4名 計 6名		
組織規約等	平成15年 4月 1日 施行 平成17年 4月 1日 改正		
② 担当する業務内容	【平成14年10月7日付医政局長通知(特定機能病院における安全管理のための体制の確保)に定められた業務以外に行っている業務】 該当無し		
③ 組織横断的な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院全部署のリスクマネージャーが参加するリスクマネージャー会議を毎月開催し、組織横断的な医療安全に関する検討、実施及び周知活動を行っている。</li> </ul>		

